

“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

陶芸家と窯屋を結ぶ情報誌

# 34窯 窯ナビ

ウラ面も情報満載

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKU のお得意様向けニュースレター

【発行日】2010年7月31日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】http://www.daichiku.jp/

## ■市崎恵美子さん「窯を焼くたびに勉強です」



市崎恵美子さんと、パン工房経営のご主人森島徹さん

### 市崎恵美子

Ichizaki Emiko

- 1972年 香川県に生れる
- 1992年 大阪芸術大学付属大阪美術専門学校  
校美術工芸科陶芸専攻卒業
- 1999年 茨城県笠間市 森田榮一陶房にて研修
- 2003年 茨城県工業技術センター窯業指導  
所卒業科終了
- 2004年 茨城県常陸太田市にて独立  
個展-香丸資料館(茨城県石岡市)
- 2005年 個展-スペースニコ(茨城県笠間市)
- 2006年 free.展-木土水ギャラリー(埼玉県越谷市)
- 2007年 個展「autumn pink」  
Gallery&café niwa-coya(調布市)
- 2008年 個展「市崎恵美子うつわ展」  
PARTY(目黒区駒場)  
個展「青」スペースニコ  
(茨城県笠間市)

- 谷口：幼い頃のことで、今のお仕事につながるようなことはありますか？
- 市崎：私は、じっとしているのが苦手な子供でした。  
ですから、デスクワークよりも手を使った仕事に向いていると思いました。
- 谷口：陶芸をするきっかけは？
- 市崎：高校生の時、美術クラブで先生に薦められ「おもしろそう！」と思い、大阪芸大付属専門学校  
陶磁器専攻に進みました。
- 谷口：いつ現職につきましたか？
- 市崎：信楽の製陶所で3年ほど働かせてもらい、笠間の森田榮一さん3年お世話になりました。
- 谷口：お仕事で、何かひとつ残る出来事を上げるとすると、なんですか？
- 市崎：陶炎祭に足を運んでくれる人は毎年たくさんいます。  
会場では印象のこのころやきもの屋さんは多いのに、私に向かって「好きなことをやっている  
から、いい顔してるね」と言われたときは嬉しかったです。
- 谷口：その出来事をきっかけにそれ以前と比べて何か変わったことはありますか？
- 市崎：お客様がよく見ているので大事にしなければいけないなあ、と思いました。  
そのためには人としても成長して、良い作品をつくることでですね。  
窯を焼くたび、勉強することがたくさんあります。
- 谷口：お客様からどのようなことをほめられるとうれしいですか？
- 市崎：作品を見て、楽しいと言ってくれるとうれしいです。  
私がつくるのが楽しいから、私がつくったもので人が楽しくなればいいと思います。
- 谷口：どんなときにやりがいを感じますか？
- 市崎：「楽しい」ということが伝わったときです。
- 谷口：最近、一番うれしかったことは何ですか？
- 市崎：引越しがすんで電気窯が身近にきたことです。
- 谷口：あなたのお仕事ぶりをご家族までどうおっしゃっていますか？
- 市崎：主人も陶炎祭ややきものが好きなので、自由にやらせてくれます。
- 谷口：ご自身のお好きなどころ、嫌いなところは何ですか？
- 市崎：ノーテンキなどころかなあ。いやなことでもよくよしないで、深く考えないようにしています。  
嫌いなところは、優柔不断
- 谷口：今の目標、今年やりたいことは？
- 市崎：今年が工房づくりに専念します。
- 谷口：大築窯戸の電気窯を選んだ理由は何ですか？
- 市崎：友人から聞いた印象が良かったんです。ものづくりの考え方が伝わってきました。
- 谷口：大築窯戸のイメージは？
- 市崎：いいと思います。お店や工場も行きやすいし。
- 谷口：ありがとうございます。

●敬称は略させていただきます  
取材担当：谷口浩司

### うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

■ご主人がパンを焼き、奥様がやきものを焼くというご夫婦。パンと陶芸、どちらも窯で焼いて出来上がりです。そこに至るまでの過程は自分の手でつくるものだから、通じ合うところがあったのかもしれない。■香川県出身でマイペースに歩んでこられた市崎さんですが、対談の中で彼女らしい印象的な言葉がありました。「地道がいい、シンプルに、人を大事に、出会った人をたいせつにしたい」。

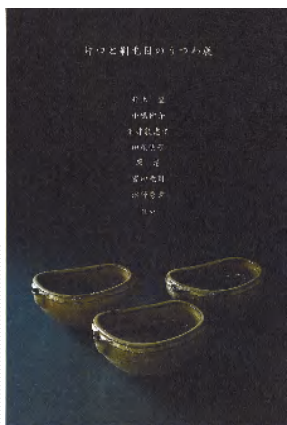


■ユーザーさんの個展情報■



片口と刷毛目の器展  
2010.6.19-6.27  
GALLERY淡風荘  
井上壘・小嶋伸介・酒井敦志之・田尾明子・原清・宮田竜司・沼野秀章ほか

4characters  
HenHouse「陶」4人展  
青木美佐緒・飯田茂・小林伸光  
佐藤りぢゅう  
7月11日(日)～19日(月、祝)



羽石修二 作陶展  
水戸 京成百貨店6F  
アートギャラリー2  
2010年6月17日(木)  
～6月23日(水)



坪内孝典作陶展  
ギャラリー彩花  
つくば市小野崎 170-1  
029-851-6600  
2010年7月8日(木)  
～7月18日(日)

■陶芸羅針盤■御本手について■秋元智香 陶芸研究通信員



■御本手は萩焼等によく見られます。それは、白い器の中にピンクやオレンジ系の色が現れているものを言います。大変味わいがあるので日本では古くからそれを茶席などで景色として楽しむ傾向があります。■今回は、その御本手のメカニズム、御本手が出やすい手法を考えてみたいと思います。■御本手は、わずかな鉄分を含んだ白土に石灰や灰の釉を用い、還元炎で焼成すると得やすいと言われています。基本的には、粘土の中に含まれている鉄分を変化させることにあります。粘土は、 $Al_2O_3 \cdot 2SiO_2 \cdot 2H_2O$  で表わされ、粘土中の少量の鉄分  $Fe_2O_3$  は  $Al_2O_3$  の中に含まれています。その場合の鉄は、 $Fe^{3+}$  という形で存在していますが、それを還元炎で焼成すると  $Fe^{2+}$  に変化し粘土の組織から抜け出します。 $Fe^{3+}$  と  $Fe^{2+}$  の違いは半径の大きさで  $Fe^{2+}$  の方が少し大きいようです。■焼成が終了し火止めした後、窯内は再び酸化になります。そのとき遊離した  $Fe^{2+}$  が  $Fe^{3+}$  に再変化し弁柄に見られるような緋色になって集結します。その色は桜色、夕日色、オレンジ色等、使用した粘土、釉薬、焼成法によって様々です。■御本手は化学的要素だけではなく、物理的条件によっても大きく左右されます。御本手を成功させるために前もって針孔(ピンホール)を付けておくことがあります。その周囲に御本手が見れやすいのは、先程の素地に含まれている鉄分を変化させる理屈を作為的にうまく利用しているといえます。それには釉が溶ける温度と酸化→還元→酸化という焼成プロセスとのタイミングが大きく影響す

るようです。■また、釉の組成も大切に亜鉛やマグネシウムを含む釉薬(亜鉛釉、ドロマイト釉など)は緋色が出にくいのです。それは、 $Fe^{3+} \rightarrow Fe^{2+} \rightarrow Fe^{3+}$  と鉄の分子構造が変化するのを、妨げる成分が含まれているからです。反対に灰釉は素地からの鉄分が変化するのを妨害しません。また、灰釉は、比較的荒い釉薬の為、物理的に素地の鉄分が通りやすく、緋色が出やすいのです。■私は、ガス炉で  $1000^{\circ}C \sim 1100^{\circ}C$  位の間、窯の中の雰囲気を通通常より強く酔わせて(酸化、還元を繰り返す事)しまった時、その時の窯が思いもよらずいつもより強い緋色になりました。通常の窯では薄いピンクのような緋色なのですが、その時の窯では夕日のような茜色の緋色でした。それ以来、御本手(緋色)がよく出る焼成方法を試みています。■一般的に、釉薬を決定付ける  $1050^{\circ}C \sim 1150^{\circ}C$  の間に還元と酸化を繰り返すと良いと言われています。しかし、焼成温度が高すぎると御本手は出にくくなります。■以上述べた事や私の経験から、御本手は一つの要素では説明し難く、幾つもの要素により現れると言うことが解りました。発生するポイントとしては窯の中の還元、酸化の雰囲気さらされた、釉薬の隙間がきっかけになる様です。ピンホールはもちろんの事、高台の際や淵の部分など釉薬が切れた場所に、よく緋色が発色します。また窯のどの部分に置かれていたか?でも緋色の発色が違います。■予想が付かず、思わぬ表情を見せてくれる御本手に私はとても魅力を感じています。



■編集後記「あとかんげん」■

■寅年の今年も半分が過ぎようとしています(6/26執筆)が、いかがお過ごしでしょうか。トラにまつわる故事の一つに「虎は千里行って、千里帰る」があります。これは、1.虎は一日で千里の道を往復することができるということ。勢いが盛んなようです。2.虎は一日で千里の道を行くが、わが子を思ってまた千里帰ってくることから、子供を思う親の気持ちが強い様子。という意味だそうです。■さて、記憶に新しいニュース、6月13日、60億kmの旅を終え地球に大気圏突入した小惑星探査機「はやぶさ」の帰還にはたいへん感激しました。この「はやぶさ」が打

ち上げられたのは2003年5月9日13時29分といえますから、帰還まで実に7年以上を要したことになります。計画では2007年の夏に帰る予定だったものが、幾多のトラブルにより3年も延びてしまいました。ミッションの一つに小惑星からのサンプル採取があります。これを持ち帰ってればまた大きなニュースになるでしょうね。■この宇宙計画、長旅の末、探査機が無事帰ってくることを願うなら、名前を虎にあやかっただけがもう少し順調に行っただかも、とも思いました。2005年の酉年「イトカワ」に着き、まさか5年後の寅年に帰ることになるとは・・・。